

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010010

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 【平成30年度】グレーダ3.7m級 41,200千円
基本施策	16	交通体系の整備	事業優先度	A		
単位施策	1	道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	建設機械整備事業		見直し年度			
事業期間	平成27年度～平成29年度		担当課	10 建設水道課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	建設機械の更新台数		関係課	#N/A		
事業目標	3台		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
全体計画 事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	○経過年数11年以上の補助対象建設機械の更新事業 ・更新台数～3台	ロータリ除雪車 1台		小型除雪車(ロータリ) 1台		ショベル(現有機種:日立) 1台	
	事業費(千円)	102,600	42,100	0	25,300	0	35,200
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	58,900	27,400		11,700		19,800
	道支出金	0					
	地方債	36,200	13,800		8,800		13,600
	その他	0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	79,113	33,693	0	20,819	0	24,601
	財源内訳						
	国庫支出金	43,797	18,720		11,700		13,377
	道支出金	0					
	地方債	31,600	14,100		8,100		9,400
	その他	0					
	一般財源	7,500	900		4,800		1,800
関 連 事 項	特定財源の名称 ・社会資本整備総合交付金 (補助率2/3) ・地方債(過疎)100%	【評価・実績】	(実施内容等) ロータリ除雪車 1台	(実施内容等)	(実施内容等) 小型除雪車(ロータリ) 1台	(実施内容等)	(実施内容等) ショベル 1台
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1台		1台		1台
		年度達成率	80%	#DIV/0!	82%	#DIV/0!	70%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	33%	33%	53%	53%	77%
		備考欄					

事業名	建設機械整備事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	建設機械の故障により、維持管理作業が実施できないことによる通行障害	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	建設機械の更新台数
【抱える課題やニーズは】	冬期間の除排雪を含めた道路維持管理の実施による町道等の円滑な通行が確保できないこと	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	建設機械を更新することによる作業能率の向上	① 建設機械の更新台数/建設機械の更新台数	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	冬期間の除排雪を含めた道路維持管理の実施による町道等の通行及び安全性の確保		目標値 1台
			達成度 100.0%
		②	目標年度 平成29年度
			目標値 〇〇
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間による物品購入の実施	入札により民間に発注し、除雪ドーザを購入した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	冬期間の除排雪を含めた道路維持管理を実施し、町道等の通行及び安全性を確保することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	除雪ドーザを更新したことにより、作業能率が向上したこと、また、故障による修繕費の軽減が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	更新前より作業能率が向上したことで、除排雪作業の時間短縮が図られたこと、また、故障による修繕費が軽減となり、事業費が抑制されたことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	本事業を実施したことにより、道路維持管理を実施し、町道等の通行及び安全性を確保できたことは、不特定多数の道路利用者に対し公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
冬期間の除排雪を含めた道路維持管理を実施するためには必要な事業であるため、今後も計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
冬期間の除排雪を含めた道路維持管理の実施による町道等の円滑な通行の確保を図ることは、必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止